

目 次

ご挨拶	i
弁理士白書発刊によせて	ii

第1編 弁理士の実勢 1

第1章 弁理士数の推移等 2

- (1) 弁理士数の推移 2
- (2) 年度別の登録者数の推移 9
- (3) 年度別の登録抹消者数の推移 9
- (4) 弁理士試験等合格者数の推移 12

第2章 事務所(特許事務所、特許業務法人、企業、大学等を含む)の推移等 14

- (1) 事務所数の推移 14
- (2) 事務所の規模別内訳の推移 15
- (3) 事務所の規模別分布と規模別就業人数 16
- (4) 事務所の地域分布状況(海外所在事務所も含む) 17

第3章 支部別弁理士数の推移等 20

- (1) 関東支部、東海支部、近畿支部 20
- (2) 北海道支部、東北支部、北陸支部、中国支部、四国支部、九州支部 21

Column

- 女性弁理士第1号 4
- 太平洋戦争時の弁理士会 22

- 大正11年、弁理士会設立当時の国際活動 17

第2編 弁理士の活動状況 23

第1章 出願手続等の代理 24

第2章 税関における差止手続の代理 27

第3章 裁判所における補佐人・共同訴訟代理人業務 28

第4章 特定侵害訴訟の代理 30

Column

- 〇〇弁理士会? 20

第3編 日本弁理士会について 31

第1章 組 織 32

第2章 役員数、委員会数、委員数 33

第3章 財 政 35

- (1) 財政の推移 35
- (2) 支部の事業費の推移 39

第4編 日本弁理士会の活動状況 41

第1章 研修の取り組み 42

- (1) 研修所の概要 42
- (2) 研修の種類別の実施回数、年間受講者数(延べ人数)の推移 43
- (3) 継続研修(弁理士義務研修) 45
- (4) 特定侵害訴訟代理業務に関する能力担保研修 46
- (5) 実務修習 47
- (6) 新人研修 48
- (7) 弁理士育成塾 48
- (8) 知財ビジネスアカデミー 49

第2編 弁理士の活動状況

(9) 各支部で行う研修	50
第2章 社会貢献活動	51
(1) 知的財産支援センターの概要	51
(2) 支援事業数	51
(3) セミナー等の開催	52
(4) 特許出願等援助制度	53
(5) 常設無料特許相談	54
(6) 知財総合支援窓口	57
(7) 地方自治体との知財支援協定の締結実績一覧	59
(8) パテントコンテスト、デザインパテントコンテスト	61
(9) 各支部の社会貢献活動	63
第3章 復興支援活動	69
第4章 知的財産価値評価推進センター	71
(1) 概要	71
(2) 活動	71
第5章 日本知的財産仲裁センター	73
(1) 概要	73
(2) 活動	73
第6章 国際活動	75
(1) 国際活動センターの概要	75
(2) 活動	75
第7章 広報活動	77
(1) 広報センターの概要	77
(2) 活動	77
第8章 品位保持の取り組み	81
(1) トラブル対応及び処分手続	81
(2) 苦情申立て、紛議調停請求及び処分請求等	83
(3) 処分請求(審査委員会による審査と決議)	84
(4) 継続研修、必修研修の受講者数と未受講者数	85
(5) 会費滞納による退会者数	86
第9章 研究・レポート	87
(1) 中央知的財産研究所の概要	87
(2) 過去の研究課題と研究員、研究成果	87
第10章 意見・声明	89
第11章 その他の活動	92
(1) 会員総合相談窓口	92
(2) 非弁理士行為への対応	93
(3) 弁理士法改正への対応	94

Column

■ 研修の歩み	42	■ 特許出願援助制度の始まり	53
■ 常設特許相談の始まり	56	■ 80年以上前から社会貢献活動!	58
■ 新しい社会貢献活動の波	60	■ 弁理士会の広報活動の始まり	78
■ 「パテント」誌の発行	80	■ 明治30年の広告	81
■ 平成17(2005)年頃から弁理士の派遣依頼が急増!	93	■ 「知的財産権と使命条項」	100

第5編 弁理士関係団体 101

第1章 弁理士関係団体	102
(1) 日本弁理士政治連盟	102
(2) 日本弁理士協同組合	103
(3) アジア弁理士協会(APAA)日本部会	104
(4) 弁理士厚生年金基金	105

資料編 107